

報道関係者各位

2025 年 6 月 11 日

富士瓦斯株式会社

LP ガス協業ネットワークを活用し、清水の会の施設に非常用 LP ガス発電機を設置支援

富士瓦斯株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：津田維一、以下「フジガス」）は、株式会社サンワ（本社：群馬県前橋市、代表取締役社長：遠藤宗司、以下「サンワ」）との業務提携のもと、社会福祉法人清水の会（所在地：群馬県前橋市、理事長：女屋啓一、以下「清水の会」）が運営する軽費老人ホーム『ケアハウスパノラマ』において、補助金を活用した非常用 LP ガス発電機の導入支援を実施いたしました。

背景と導入経緯

サンワは、従来より清水の会に対して灯油の供給を行っていました。2023 年度、清水の会より「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」（厚生労働省公募）を活用した非常用発電機設置の相談を受け、サンワは LP ガス発電機の災害時における優位性について説明・提案を行いました。

その後、清水の会は「非常用 LP ガス発電機設置工事」として補助金を申請し、採択後に入札を実施。サンワが落札し、2024 年 12 月 23 日より着工、約 2 か月の工期を経て 2025 年 2 月 27 日に工事が完了・引き渡しされました。

設置内容と特徴

本案件においてサンワは、GENERAC 社製の LP ガス発電機『RG521（21.6kVA）』を設置し、施設内の共有食堂および事務室における照明・コンセントへのバックアップ電源として機能するよう構成しました。

停電時には、約 40 秒で特定機器への電力供給が自動的に発電機電源へ切り替わるよう、自動切替開閉器による接続を実施。また、298kg 縦型の定置型 LP ガスバルク貯槽を併設し、72 時間以上の連続稼働を可能とする LP ガスを常時備蓄しています。

フジガスの役割と今後の展望

今回のプロジェクトにおいて、サンワは自社初となる据置型 LP ガス発電機の設置工事を元請けとして実施しました。フジガスは、関東一円での施工経験を活かし、補助金活用の方法から発電機の選定・提案・納入・施工に至るまで、全面的な技術支援を行いました。

フジガスは今後も、LP ガス協業ネットワークを通じて、全国における LP ガス発電機の普及を積極的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

富士瓦斯株式会社

サステナビリティ事業本部 開発営業部（担当：柴・小林）

TEL：03-3305-3711

MAIL：lpg_hatsudenki@fujigas.com